

発掘が終わってからの整理作業

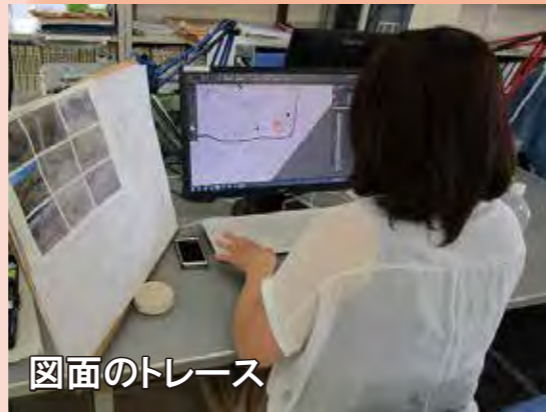


図面や写真、土器や石器を整理し、発掘調査の成果を大勢の人に伝えられるように整えます。



図面の整理

① 穴や建物の跡の図面をまとめ、整理します。



図面のトレース

② パソコンで図面をきれいに清書します。



接合・復元

③ 土器の破片をつなぎ合わせます。欠けた部分は石こうを入れます。



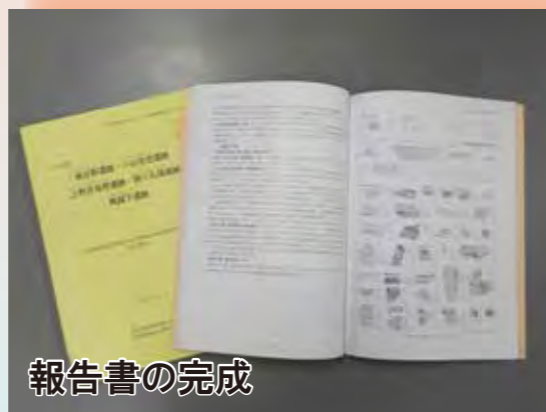
土器の実測

④ 土器や石器を測って、形や文様を図にします。



編集

⑤ 図や写真、文章を編集します。



報告書の完成

⑥ 発掘の結果は報告書にまとめます。



(一財)長野県文化振興事業団 長野県埋蔵文化財センター
〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 963-4
TEL 026-293-5926 FAX 026-293-8157

※この冊子は、文化庁令和2年度地域の特色ある埋蔵文化財活用事業で作成しました。



<http://naganomaibun.or.jp/>



かがみちゃんと学ぼう

ジュニアこうこがく

第9号

令和3年(2021年)3月11日発行

かがみちゃん

はっくつ 発掘調査ってなんだろう?

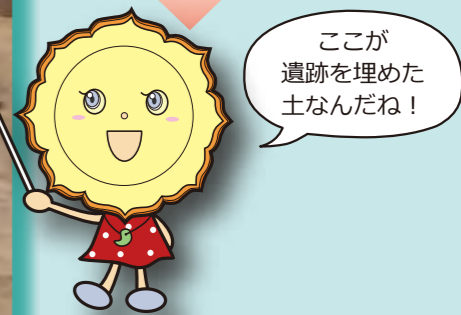
昔の人々の活動の跡が残された場所を「遺跡」といいます。土の中に埋もれた遺跡を掘り、記録を残し、貴重な歴史の資料として伝えていくのが「発掘調査」です。長野県でも数多くの遺跡の発掘調査が行われています。



地面を1mほど掘ったら、たてあな たてものあと 竪穴建物跡ができました! (長野市塩崎遺跡群)

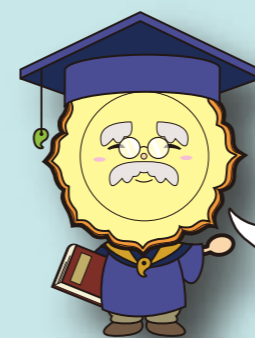
なぜ遺跡は土の中に埋まっている?

遺跡は長い間に風や雨水で運ばれた土、洪水の土砂などで埋まっています。



遺跡から何がわかるの?

出てきた土器や石器などの道具や、炉やカマドから昔の生活を知ることができます。



みんなの住んでいる町や村にはどんな遺跡があるかな?



(辰野町沢尻東原遺跡)

煮炊きに使った縄文土器



(辰野町沢尻東原遺跡)

石に囲われた炉
(火をたいてあたたまり、料理をしたりする場所)

はっくつ 発掘現場をみてみよう

研究のために行う発掘調査のほかに、最近では、工事で壊される前に遺跡のようすを記録するために発掘調査が多くなっています。どちらの場合も、基本的な作業の手順は同じです。

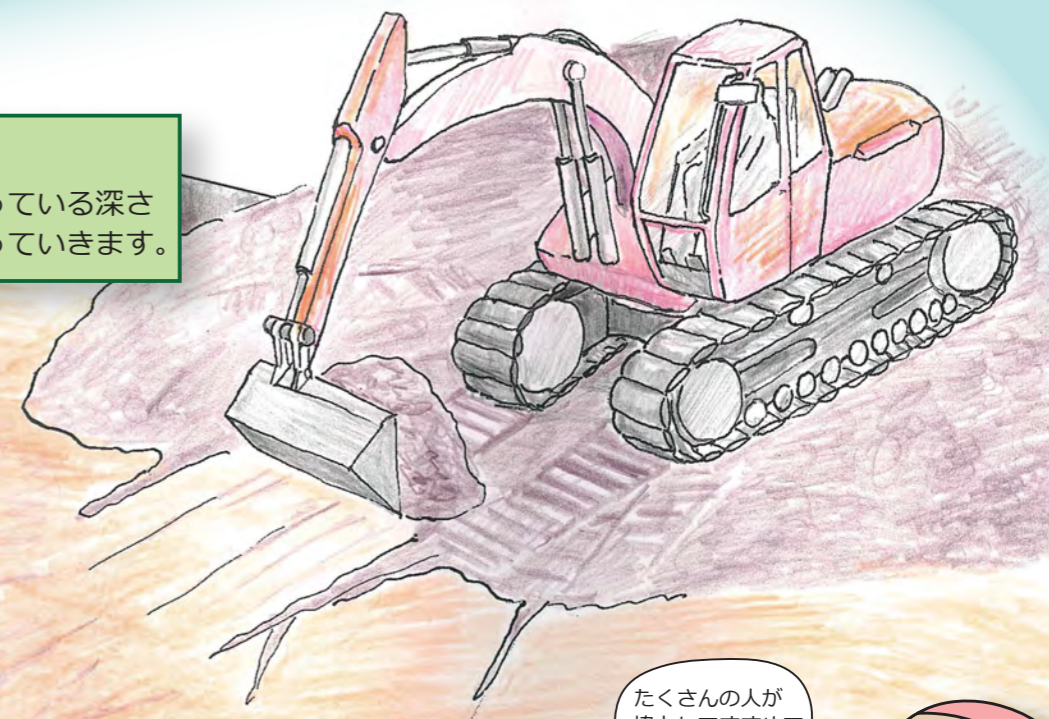
② 穴や建物の跡を探す

表面をきれいに削り、土の色や硬さのちがいに注意して、昔の生活の跡をみつけていきます。

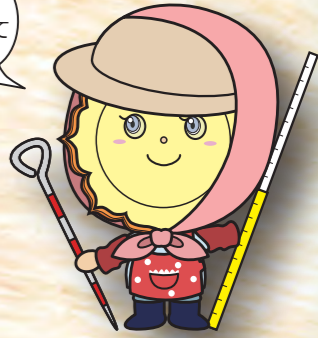


① 機械で地面を掘る

昔の穴や建物の跡が残っている深さまで、機械を使って掘っていきます。



たくさんの方が協力してすすめていくのね!



50cm だよ

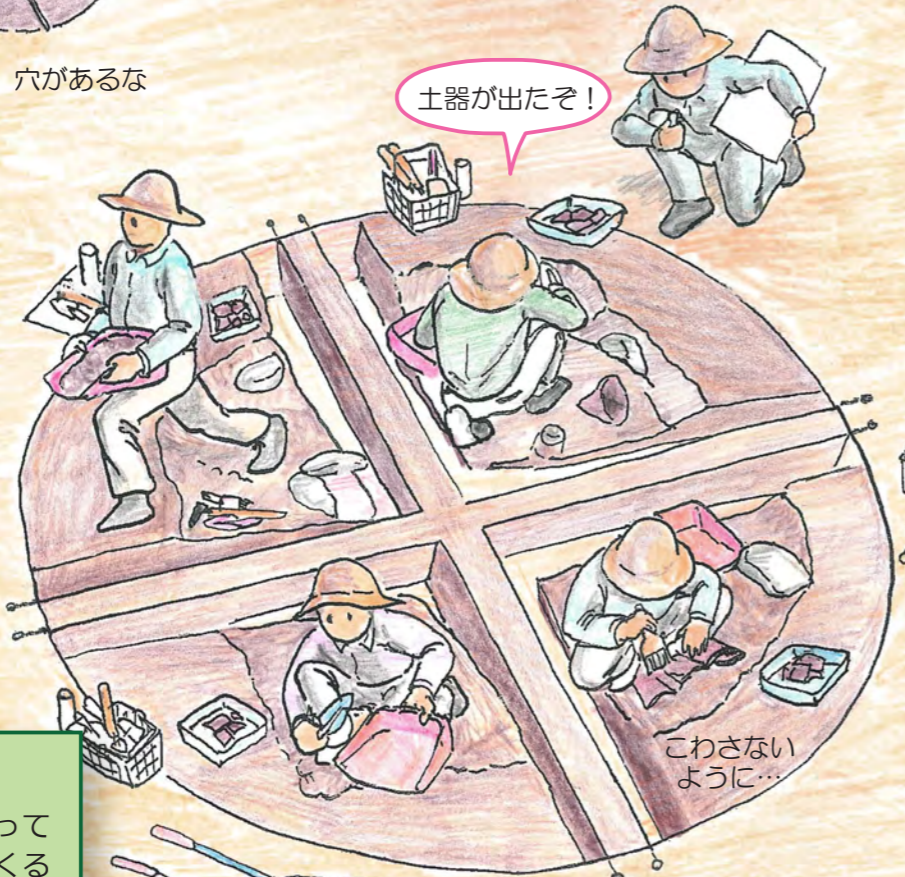
④ 記録を残す

出てきた土器や石器、掘りあがった穴や建物の跡を、測量して図面を描いたり、写真をとって記録します。遺跡のようすを伝える大事な資料となります。



③ 人の手で掘り下げる

穴や建物の跡をていねいに掘っていきます。土器や石器が出てくるようすもよく観察します。発掘調査の中心となる作業です。



はいっ

